

1 次世代の子供たちの環境整備について

(1) 学校の暑さ対策について

- ① 最近、35度以上の猛暑日や30度以上の真夏日が増えている。また、「暑さ指数」といって人体と外気との熱のやりとりに着目した、湿度と日差しと気温の3つの要素からなる指標が注目されている。以前とは大分暑さが変わってきたように感じるが、現在の夏の暑さについてどう捉えているか伺う。
- ② 過去3年の間、6月から9月に、吐き気、頭痛、めまいなどで保健室に来室した子供の総数を小・中学校別に伺う。そのうち、熱中症と判断した件数は。
- ③ 小・中学校別に学校の暑さ対策の取り組みについて伺う。特に、給水や冷却グッズの取扱いの現状を伺う。
- ④ 現在、家庭や公共施設、民間の諸施設では空調整備は必須になっている。最近の猛暑日の増加やインフルエンザが猛攻する冬の寒さの中で子供たちの学習環境を整える上で、また、多忙な教職員の体調管理を考えた上で、空調整備の検討を考える時期にきたと思うが、見解を伺う。
- ⑤ ながふじ学府の小中一体校が検討されている。新設の学校において、空調整備の位置づけについて伺う。

(2) 子宮頸がんワクチンの副作用について

- ① 子宮頸がんワクチンの副作用について各メディアで取り上げられている。全国子宮頸がん被害者連絡会、静岡・長野・山梨支部では県内に15人以上の被害者がいるとしている。磐田市の子宮頸がんワクチン副作用に伴う状況の認識を伺う。
- ② 子宮頸がんワクチン接種が始まってから現在までの接種状況を伺う。その間、副作用の報告があったか伺う。また、相談体制についてどうだったか伺う。
- ③ 今後の対策があれば伺う。副作用への治療費助成への考えがあるか伺う。

2 高齢者施策の充実について

- (1) 改正介護保険法が、H 2 9 年 5 月に成立。今回の改正でサービス利用者の自己負担額の見直しや新サービス創設など H 3 0 年度から大きく変わる。磐田市民としてどのような影響があるのか、具体的に伺う。
- (2) 認知症対策について
 - ① 認知症と診断された高齢者数の現在までの推移を伺う。今後の予測を伺う。
 - ② 認知症の初期段階での相談や受診できる医療機関について伺う。かかりつけ医との関係について伺う。「磐田市物忘れ相談連絡票」の位置づけについて伺う。
 - ③ 認知症地域支援推進員の役割と課題、効果について伺う。
 - ④ 認知症サポーター養成講座を受講した認知症サポーターの総数と地域での見守り体制に組み込む等、実際の活用について伺う。また、地域での見守りが今後大切だと考えるが見解を伺う。
 - ⑤ 認知症登録制度（オレンジシール）の内容と実績について伺う。
 - ⑥ 成年後見制度利用支援の現状と課題、方向性について伺う。